

さくら市進化プラン

気力・体力・学力No.1 教育の進化

子どもたちのために…
『さくら』は日本の良さ 日本の良さは教育の良さにあります

1.学力 県内トップクラスの達成
全国学力学習状況調査結果を県内トップクラスに

令和元年度

「全国学力・学習状況調査」
～ さくら市の分析結果の概要 ～

今年4月に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果の概要についてお知らせします。

1 全国学力・学習状況調査について

令和元年度は、小学校が国語と算数の2教科、中学校が国語と数学、英語の3教科で調査を行いました。中学校の英語については、今年度初めて実施され、今後は3年に1度程度実施される予定です。

また、児童・生徒の生活習慣や学習環境等については、質問紙による調査を行いました。

2 調査結果について

市の児童・生徒の状況については、全国平均と比較したポイント（P）の差で次のように表現しています。

全国平均と比較したポイント（P）の差

全国平均と比べて+5.0P以上	→ 大きく上回る。
+2.0Pから+4.9P	→ やや上回る。
-1.9Pから+1.9P	→ 全国平均なみ。
-2.0Pから-4.9P	→ やや下回る。
-5.0P以下	→ 大きく下回る。



3 市の重点項目と結果

さくら市では、令和元年度、次の項目を重点的に取り上げています。

最終的には、すべての項目で全国平均を大きく上回ることを目指しています。

		重点項目	結果
小学校	学力	国語	大きく上回る。
		算数	全国平均なみ。
	学習状況	国語がよくわかる児童	全国平均なみ。
		平日1時間以上勉強している児童	大きく上回る。
中学校	学力	国語	全国平均なみ。
		数学	全国平均なみ。
	学習状況	国語がよくわかる生徒	やや下回る。
		平日2時間以上勉強している生徒	全国平均なみ。
		自分にはよいところがあると思う生徒	大きく上回る。

4 国語、算数・数学、英語の調査結果（小6、中3）

この調査では、子どもたちの「正答率」の状況を把握します。

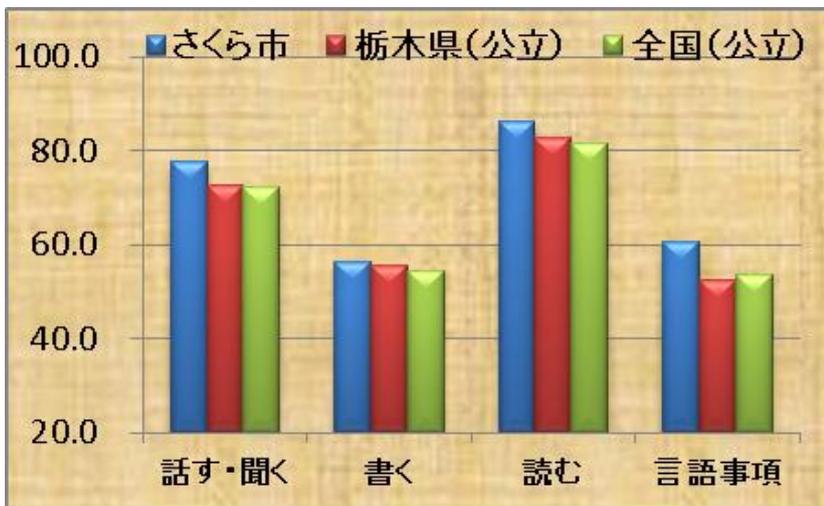
「正答率」： 18問中14問正答した場合の正答率は「 $14 \div 18 \times 100 = 77.7$ 」です。百点満点での点数（約78点）と考えることもできます。

小学校（6年）

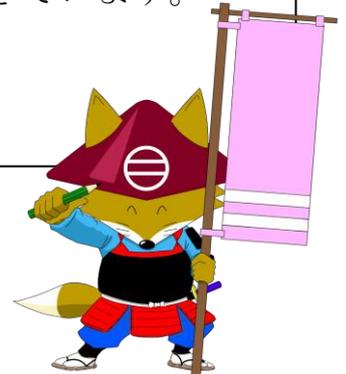
国語は、全国平均よりかなり高いです。
算数は、ほぼ全国平均なみです。



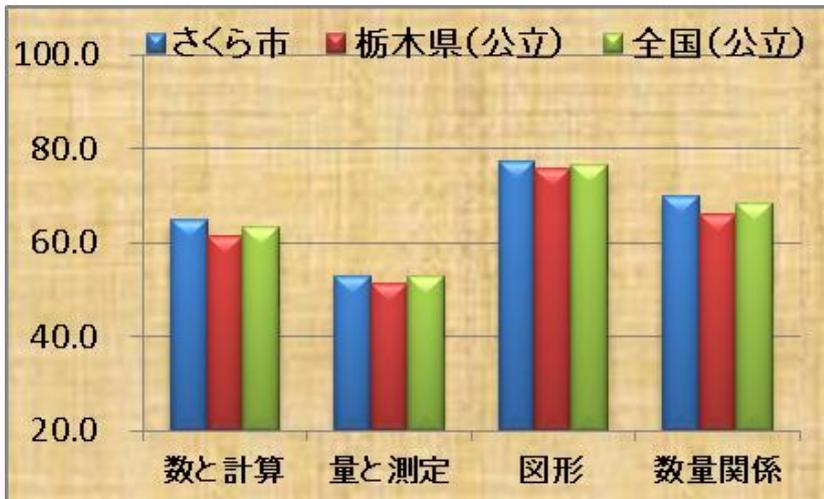
<国語>



- ◎ すべての領域で全国平均よりよくできています。
- ◎ 特に、「話す・聞く」や「言語事項」は、全国平均に比べてかなりできています。



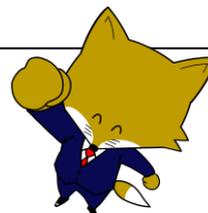
<算数>



- ◎ すべての領域で全国平均よりよくできています。
- ◎ 領域の中では、「数と計算」と「数量関係」がよくできています。

中学校（3年）

国語は、ほぼ全国平均なみです。
 数学は、ほぼ全国平均なみです。
 英語は、ほぼ全国平均なみです。



<国語>



○「話す・聞く」や「書く」、「読む」、「言語事項」すべての領域で全国平均なみです。



<数学>



○「数と式」や「図形」、「関数」の領域で全国平均なみです。
 ●「資料の活用」の領域は、課題が見られます。



<英語>



○「聞くこと」や「読むこと」、「書くこと」すべての領域で全国平均なみです。
 ◎「話すこと」調査は、参考値ですが、両校ともに全国平均を上回りました。

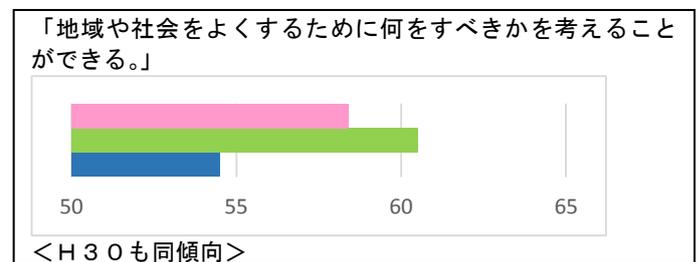
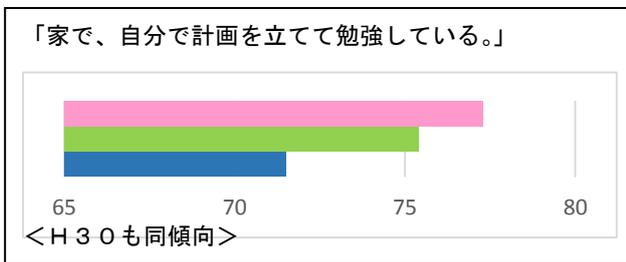
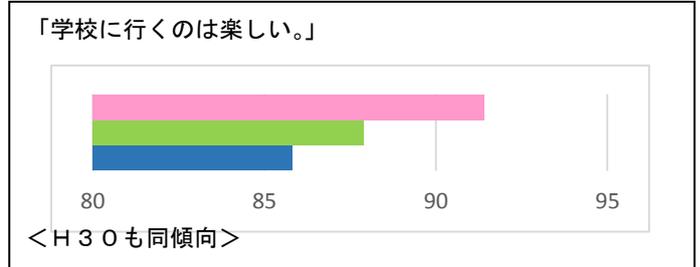
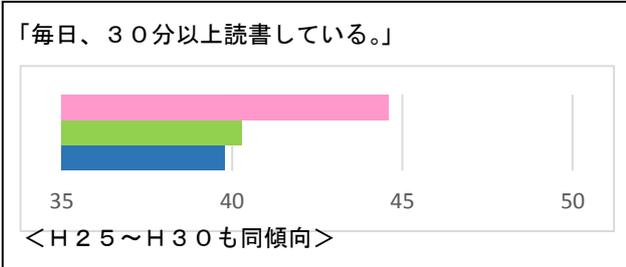
5

学習や生活状況に関する調査の概要

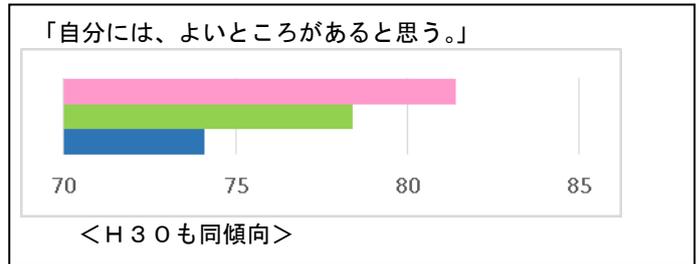
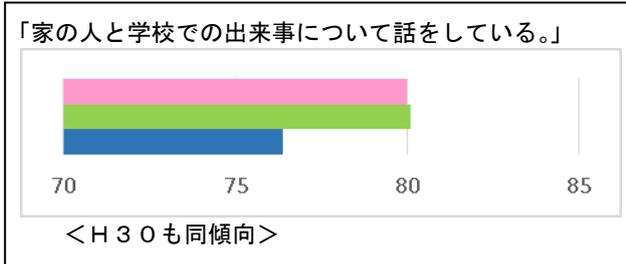
この調査では、子どもたちの学習や生活状況に関する質問紙（アンケート）調査も実施されました。
 さくら市の子どもたちの生活・学習の特徴は・・・

【全国の結果と比べて、よかったところ】

－ 小学校（毎年、同傾向が見られるもの）－（ さくら市 … さくら、栃木県 … 緑、全国 … 青 ）



－ 中学校（毎年、同傾向が見られるもの）－（ さくら市 … さくら、栃木県 … 緑、全国 … 青 ）



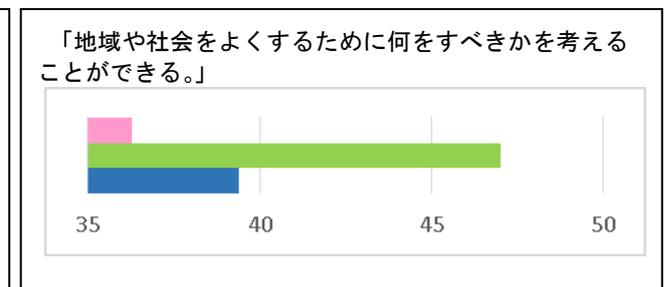
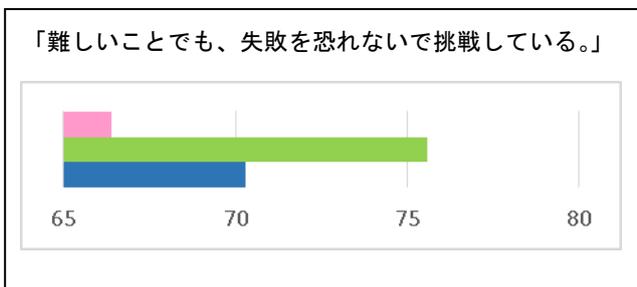
【全国の結果と比べて、課題と思われるところ】

－ 小学校 －

大きな課題は見当たりませんでした。



－ 中学校 － （ さくら市 … さくら、栃木県 … 緑、全国 … 青 ）



学習や生活状況に関する調査の結果から

(さくら市の小学生のよさ)

- ・読書活動に親しんでいる。 ・学校に行くのは楽しいと思っている。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強している。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えている。

(さくら市の中学生のよさ)

- ・家の人と学校での出来事について話している。
- ・自分にはよいところがあると思っている。

(さくら市の小学生の課題)

- ・大きな課題は見当たりません。

(さくら市の中学生の課題)

- ・難しいことでも失敗を恐れずに挑戦すること。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えること。



6 学力と学習や生活状況に関する調査結果の関連

【児童生徒質問紙において、学力アップにつながると思われる項目】

－ 小学校・中学校 －

- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 家の人と学校での出来事について話している。
- 朝食を毎日食べている。
- 学校の規則を守っている。
- 自分には、よいところがあると思っている。



学力と学習や生活状況に関する調査結果の関連から

- ・「人の役に立ちたい」という自己有用感をもたせることは、学ぶ意欲につながり、学力向上と密接に関連しています。
- ・「学校のきまりを守っていること」や「朝食を毎日食べていること」など基本的な学習・生活習慣が身につけていることや規範意識が高いことが、学力アップにつながります。

7 家庭でできる学力アップ5箇条 (R1バージョン)

一・規則正しい生活習慣を整えましょう！

(早寝・早起き・朝ごはん)

二・規範意識を身につけさせましょう！

(良いことはほめる。だめなことはだめと叱る。)

三・自己有用感をもたせましょう！

(「ありがとう」、「助かるよ」の言葉かけを積極的に行いましょう。)

四・親子の会話をしましょう！

(学校での出来事や時事問題を話題にしてみましょう。)

五・携帯電話・スマホを持たせる前に必要かどうか話し合しましょう！

持たせたら、必ずルールを作りましょう！

(携帯電話・スマホの利用時間が1時間を超えると、いくら勉強しても成績が下がるというデータもあります。利用は、1時間までにしましょう！)

8 学力向上に向けた取り組み 及び 今後に向けた改善策

各校では、学力調査の結果を分析し、「改善プラン」を立てて、学力の向上を目指しています。今年度、各校の教員が指導力向上のために研修している取り組みを2つ紹介します。

秋田県由利本荘市視察

→ 市内すべての小中学校の学力向上担当者が、学力全国トップクラスの秋田県の視察に行きました。2日間にわたり、由利本荘市の小学校と中学校の授業を参観し、秋田の先生方と情報交換を行ってきました。

秋田県では、「当たり前のことを当たり前に行う」（凡事徹底）がしっかりと指導されていました。また、家庭学習が確実に行われる等、家庭や地域の教育力の高さが伺えました。



学力向上推進リーダー派遣事業

→ 「学力向上推進リーダー」とよばれる小学校の国語と算数の教科指導に実績のある先生が、いくつかの学校をまわりながら一緒に授業をしたり、授業の準備をしたりしています。また、授業をよりよくするアドバイスを行っています。

教員は、学力向上につながる授業について、一緒に考え実践することで、子どもたちの学力の向上を目指しています。



このほかにも、各校では、それぞれの実情に合わせてさまざまな取り組みをしています。今後ともご協力をお願いします。

さくら市では、さらによくわしい分析を行い、今後の改善策についてホームページに掲載する予定です。

URL : <http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/>

※ 今後も、学力の向上に向けて様々な取り組みを行っていきたいと考えています。
学校と家庭、地域の連携が子どものよさを伸ばすカギになります。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し今後の学習指導に役立てることを目的に、小学6年生と中学3年生を対象に、文部科学省が実施しているものです。

なお、実施教科は全科目ではなく（国語、算数・数学、英語）、学習内容全体を網羅するものではありません。本調査の結果については、子どもたちが身に付けるべき学力の一部であることを心に留めていただきたいと思います。

【令和元年度】

さくら市教育委員会・さくら市教育研究所